



発行所 岩室村役場  
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.189

岩室村の人口

(11月30日現在) 前月対比

男	4,374人	(-)
女	4,835人	(+5)
計	9,209人	(+5)
世帯数	2,188世帯	(+1)

(住民基本台帳による)



村づくり・家づくりの道しるべに

# 村民憲章を制定

新年1月1日公布

## 生活信条として

### みんなで心がけよう

広く村民のみなさんの行政参加と、心のやさえとすることを願って、村民憲章が制定されました。

この村民憲章は、村民憲章起草委員会によって、「短文で、わかりやすく、だれからも口ずさめるもの……」という前提で、性格・内容・表現・形式など草案

の検討がつづけられていたものです。先月の定例村議会でも、満場一致で承認され、新年元旦から公布されました。豊かなくらしと、村民一人ひとりの心のやさえとして、みんなで心がけ、そだてましょう。

## 岩室村民憲章

緑豊かな弥彦多宝の山脈果てしない  
 沃野雄大な日本海 緑と太陽と水の里  
 常に伸び続ける明るい村「岩室」

私たちは岩室村民であることに誇り  
 を持ち手をたずさえてみんなの幸せと  
 村の発展のための次のことを日常生活の  
 信条として堅実に歩み続けましょう。

- 「郷土を愛し自然と文化財を大切にしよう
- 「心身を鍛え健康な生活をしよう
- 「勉学や仕事に励みゆめを実現しよう
- 「物を大切に生かして使おう
- 「進んでまごまりを守り良識ある生活をしよう

昭和五十三年一月制定

## 村民憲章の制定にあたって

この憲章は、岩室村の歴史と今日的課題を踏まえ、全村民の道徳を展望し、全村民の道徳を願いつつ生まれたものである。

前文と本文で構成されている。前文の前段は、「緑と太陽と水の里」として恵まれているわが郷土の自然をたええるとともに、岩室は、「常に伸び続ける明るい村」であるとの村の姿を端的に表現している。後段では、岩室村民としての誇りを持つこと、互いに認め助け合うことを基底として、みんなの幸せと村の発展のために、本文に示したことを日め、伸ばし、日々の生活に歩み続けてほしいと呼びかけている。「堅実な歩み」は岩室村民の心情に添うものと考えられる。

なお、十宝・多宝の呼称については、現在は多宝と呼ばれており、国土地理院の地図にも多宝山となっているのでこれを用いた。また、前文は百二十三字の構成である。「一・二・三」のかけ声でスタートしようとの配慮からである。本文は、前文をうけて、

九〇〇有余の村民の生活に期待するものを、簡潔な表現で、五条にまとめてあてる。

当村では、これまで「融和と前進」「合意と参加」等の合いことばと年度ごの実行目標を掲げ、今日に及んでいる。これらの願いも五条の中に織り込まれている。村民の生活の有様と期待する姿を多面的に分析し、それぞれの条文ができあがったものと解してほしい。

一・二条は文字の示す通りである。三条は、生涯が勉学の連続であるという観点にたちこのことを強調するとともに常に自分をみつめ、伸ばし、日々の生活に生きがいを見出し、自己実現をと望んでいる。四条では、物そのものの生命を尊重し、工夫して生かそうといい、五条では、個人及び集団に望まれる基本的な資質を良識とし、習慣化を期待している。

われわれの生活では、様々なことが要求される。場面に応じてこれらの条項と結びつけ、解釈し、生かされるよう望むものである。